

目標達成計画

作成日: 平成 29年 4月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日常生活の中での刺激が少なく認知症の進行が早くなる。	レクリエーション等を充実し、外出支援を積極的に行い、認知機能の低下の進行を予防し楽しみを作る。	季節を肌で感じてもらえるよう、旬な物をみてもらったり、施設外の方々とふれあいができるようにして行く。 生活リズムが整えられるように太陽の日差しに当れる時間(散歩など)を作る。 イベントへの積極的な参加・外出などレクリエーションを支援していく。 外出の予定計画を職員と一緒に作る。	12ヶ月
2	21	利用者個々のレベルの違いにて口論となりトラブルが多い。 また、利用者同士の関係への支援が対応不十分である。	利用者間のトラブルを無くし、お互いが気持ちよく暮らせるようにする。	利用者間のトラブルが些細なことで発生するので、職員が利用者個々の性格等を把握し、常に見守りをしてトラブルが発生しないよう目配り・気配り・心配りを細やかにして行く。	12ヶ月
3	23	一人ひとりの思いや意向の把握が難しい。	一人ひとりのニーズをきちんと把握し、穏やかな生活を送っていただく。	日々の関わりの中で言葉や表情・態度などから本人の真意を察するように努め、思いや意向に添った介護をして行く。	12ヶ月
4	55	目が届かないところでの転倒・転落などの事故が発生する可能性がある。	転倒・転落事故を起こさないようにする。 筋力の維持に努められるような体操・レクリエーションの実施。	利用者の動きを把握し、突発的な動きに瞬時に対応できるようにする。 利用者一人ひとりのレベルに合わせたプログラムを考え、楽しみを持ちながら、手足を動かすことで機能回復・維持を図れるように取り組む。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。